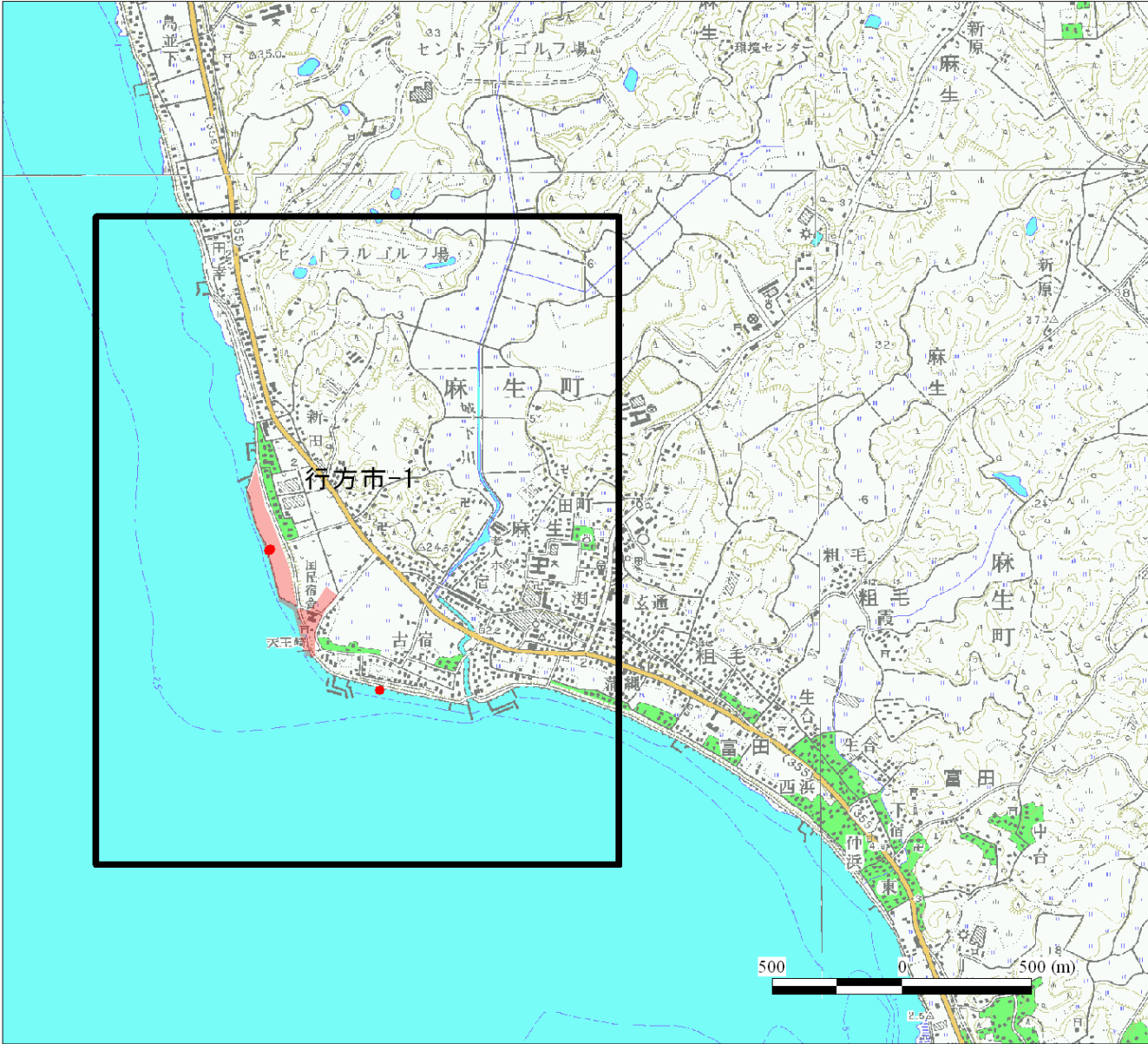
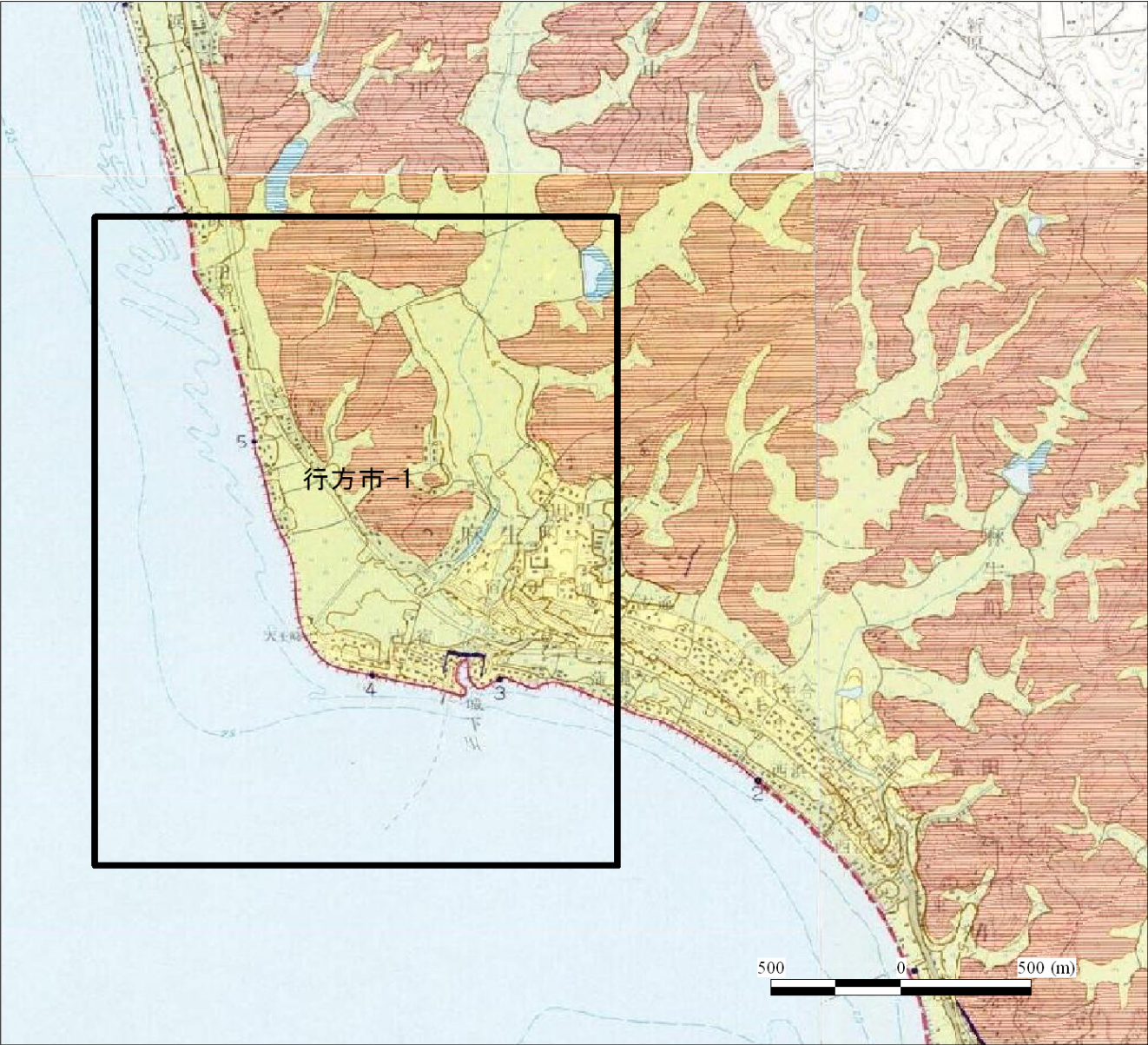


地区名	行方市-1			都道府県	茨城県	市区町村	行方市	地区	古宿	1/6
発生面積	小	地形分類	氾濫平野、埋立地			液状化発生履歴	液状化の履歴なし			
土地改変履歴	湖畔の埋立てによる陸地の造成									
被害概要	護岸遊歩道カラー舗装の破損・波打ち、道路の段差・ひび割れ									
噴砂の状況	駐車場に噴砂			地盤の変形量(沈下、傾斜)		20cm～40cm程度			被害の程度	小
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会									

平面図（赤色は液状化、青色は非液状化を示す。面的着色は、専門家が現地調査結果に地形・地質情報等を加味して、その範囲を推定したものであり、その境界位置は厳密なものではない）

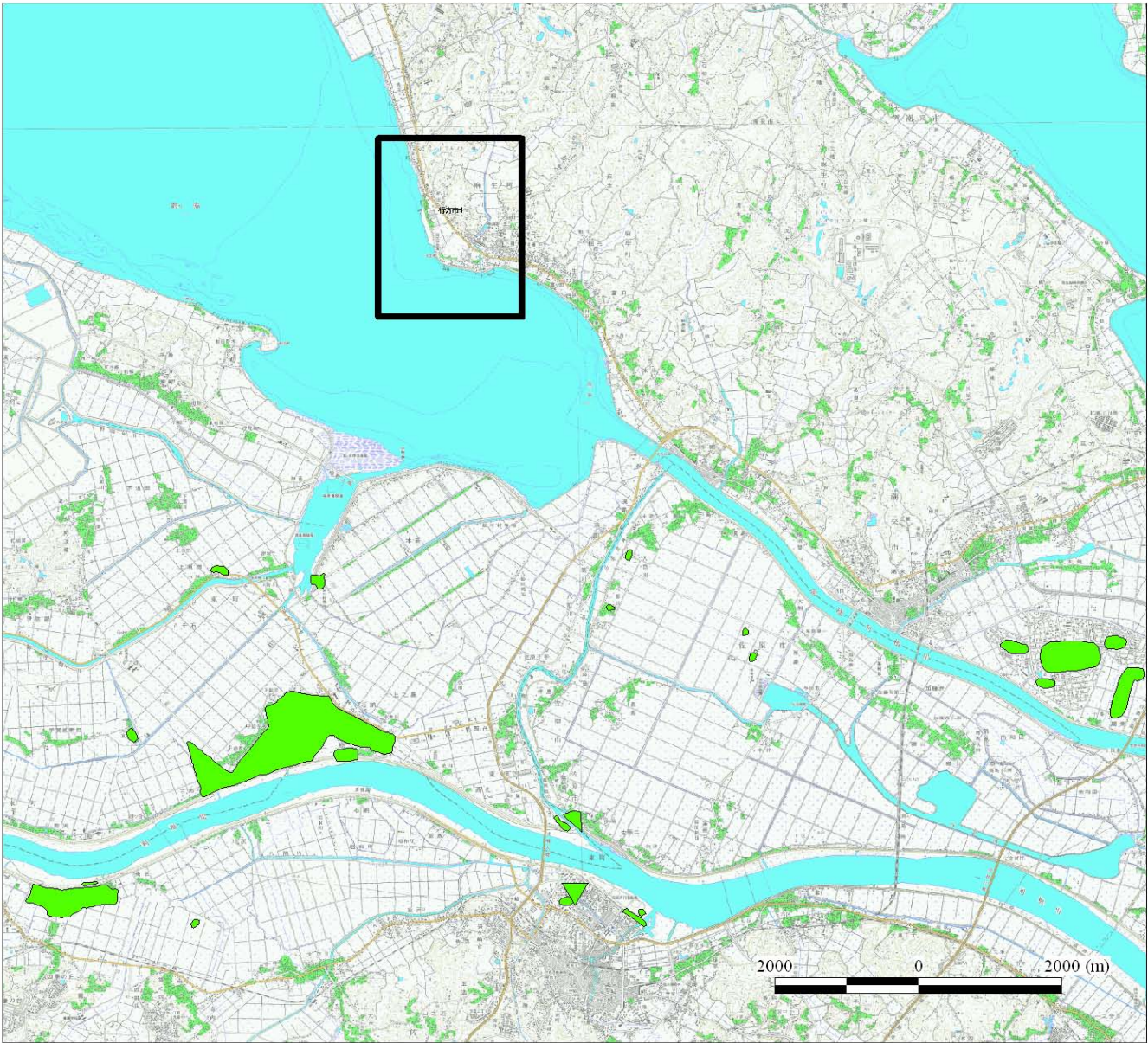


治水地形分類図



地区名	行方市-1			都道府県	茨城県		市区町村	行方市		地区	古宿		2/6
発生面積	小	地形分類	氾濫平野、埋立地				液状化発生履歴		液状化の履歴なし				
土地改変履歴	湖畔の埋立てによる陸地の造成												
被害概要	護岸遊歩道カラー舗装の破損・波打ち、道路の段差・ひび割れ												
噴砂の状況	駐車場に噴砂			地盤の変形量(沈下、傾斜)			20cm～40cm程度			被害の程度		小	
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会												

日本の液状化履歴マップ745-2008(若松加寿江著)



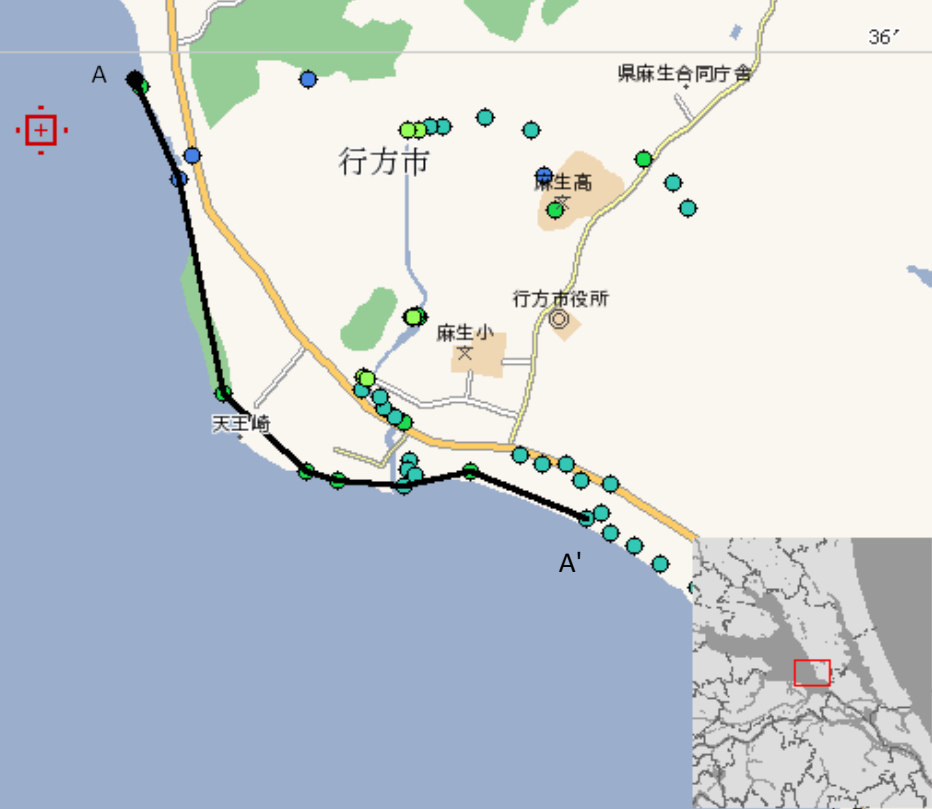
航空写真(googleマップ2011/3/29版)



Figure 1 is a topographic map of the study area in China. The map shows the location of the study site, which is highlighted by a black rectangle. The map includes contour lines, a grid, and labels for various locations such as 村生麻 (Cun Sheng Ma) and 村生 (Cun Sheng). A scale bar at the bottom indicates 500 meters.

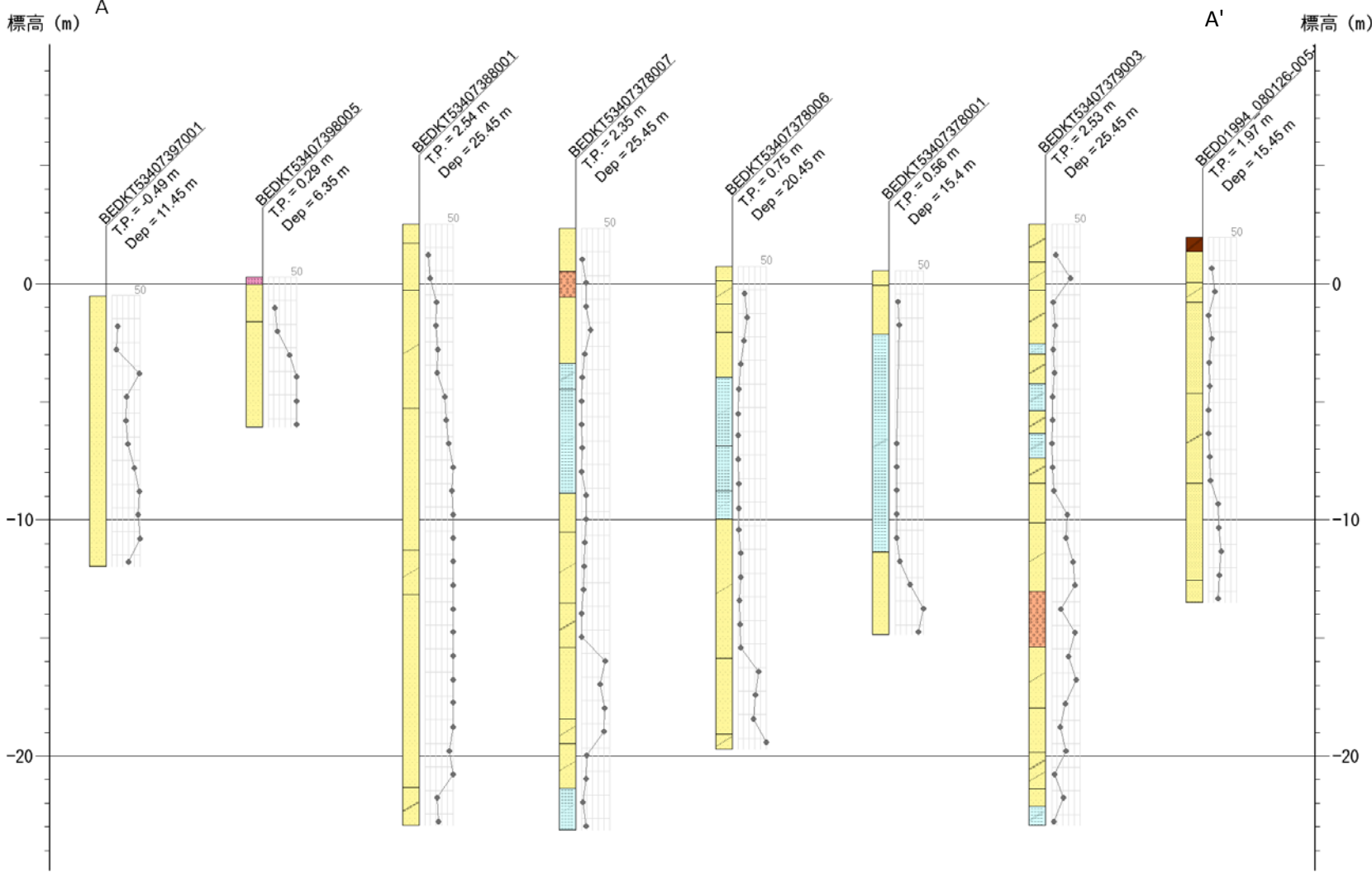
箇所名	行方市-1		都道府県	茨城県		市区町村	行方市		地区	古宿		4/6
地下水位	GL-0.65～1.49m	液状化対象層(層厚、深度)		Bs,As,Asc GL-0～12m(層厚3～12m)								
湿潤密度 ρ t			平均粒径D50			細粒分含有率FC				塑性指数Ip		
平均N値	0～22		液状化強度RL20			S波速度Vs				相対密度Dr		
液状化抵抗率F			適用基準			液状化指数PL						

平面位置図

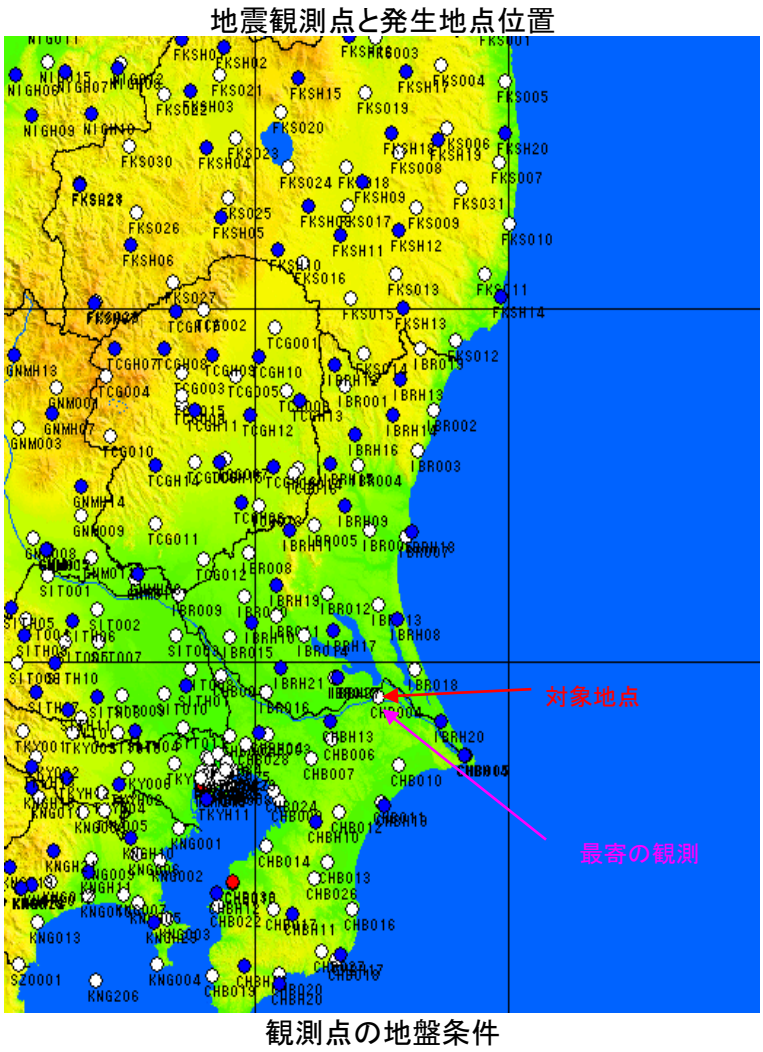
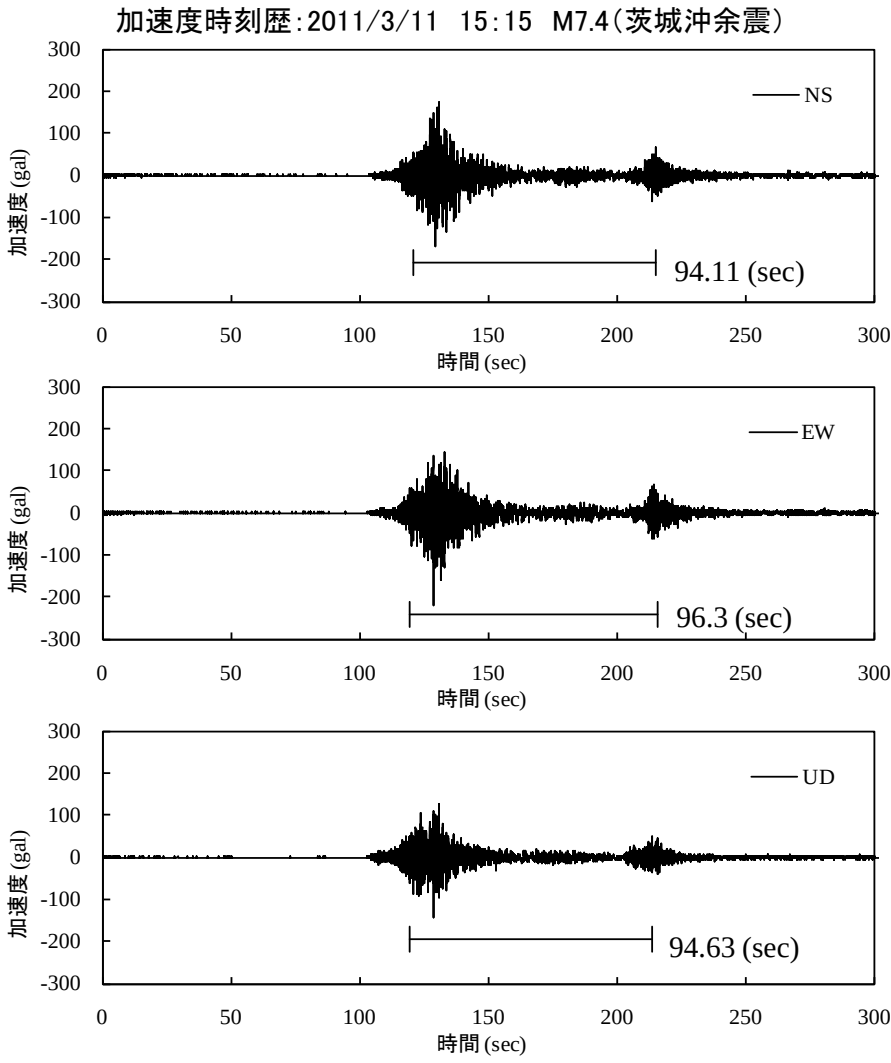
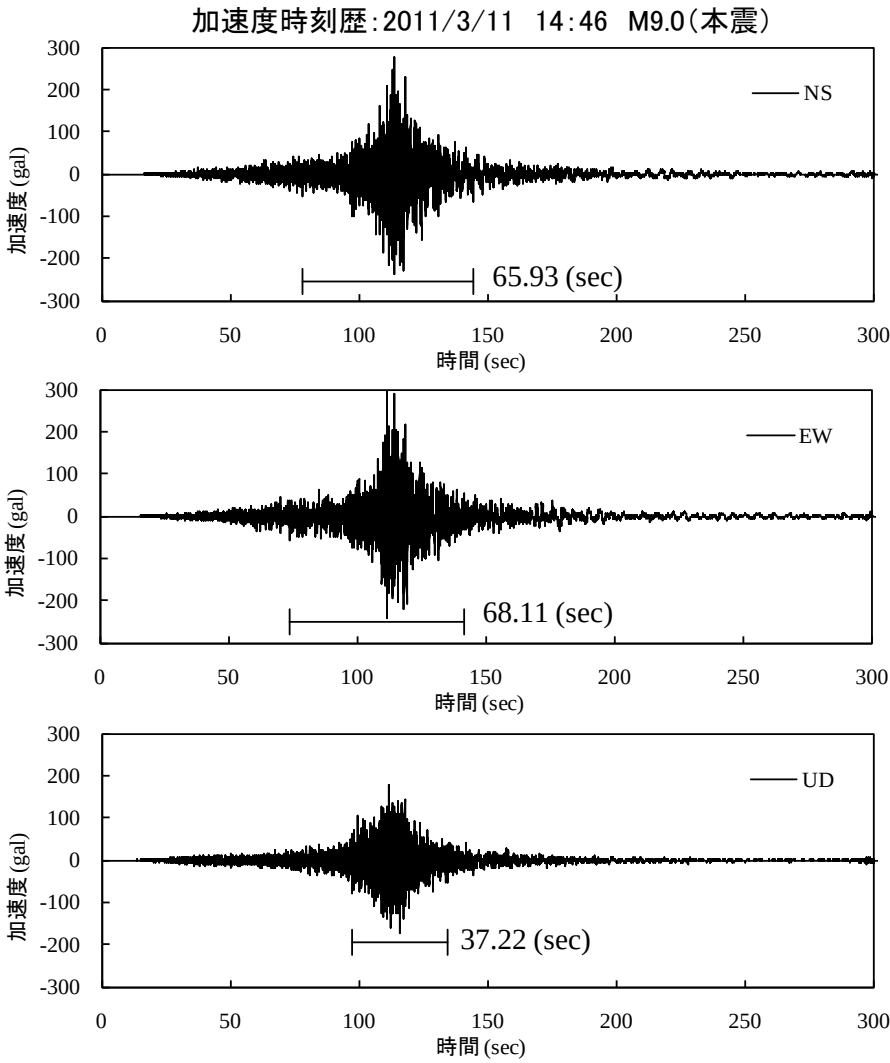


出典:防災科学技術研究所ジオステーション

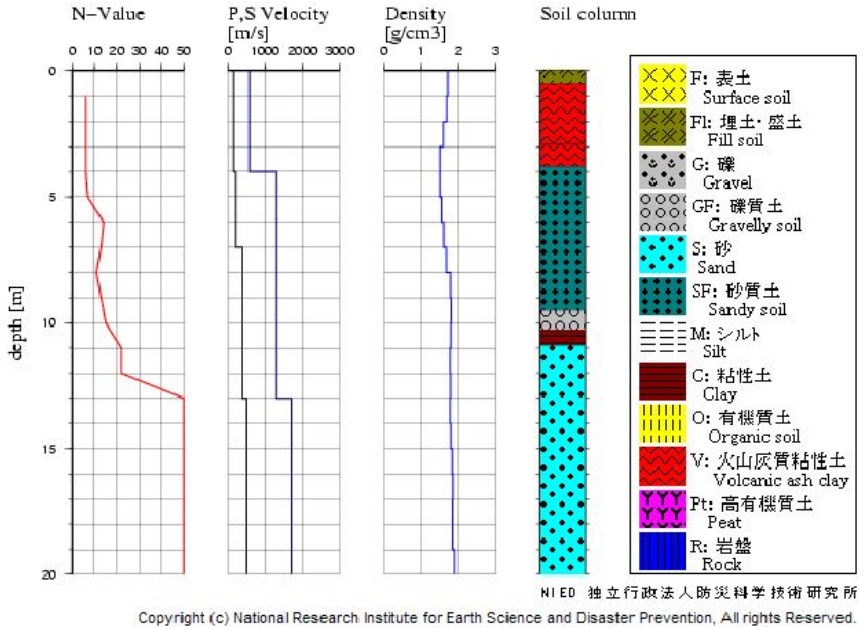
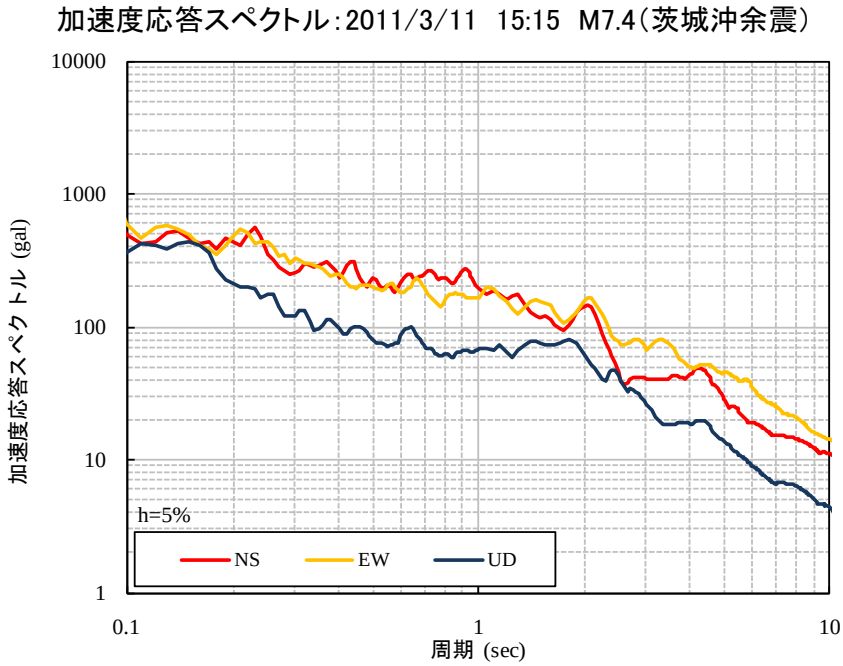
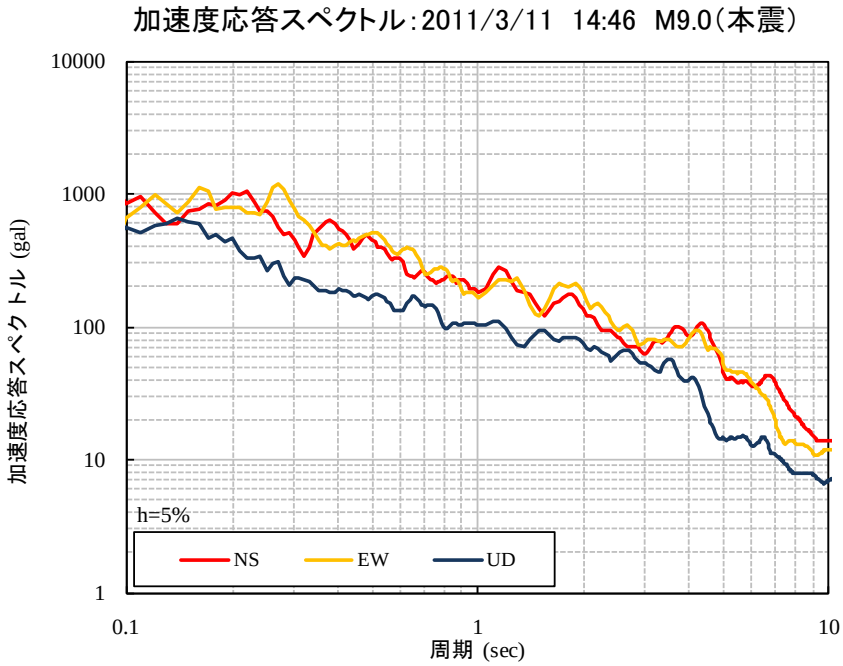
地質柱状図対比図



箇所名	行方市-1	都道府県	茨城県	市区町村	行方市	地区	古宿					5/6
対象地震	2011/3/11 14:46 M9.0(本震)	観測点	K-NET佐原(CHB004)	対象地点との距離(km)	9.8	最大加速度(gal)	310.3	最大速度(kine)	26.3	継続時間(50gal以上)(s)	68.11	
	2011/3/11 15:15 M7.4(茨城沖余震)						244.6		23.1		96.30	
注)最大加速度、最大速度の値は3成分合成値					気象庁震度(本震)	6弱		出典	防災科学技術研究所HP			



観測点の地盤条件



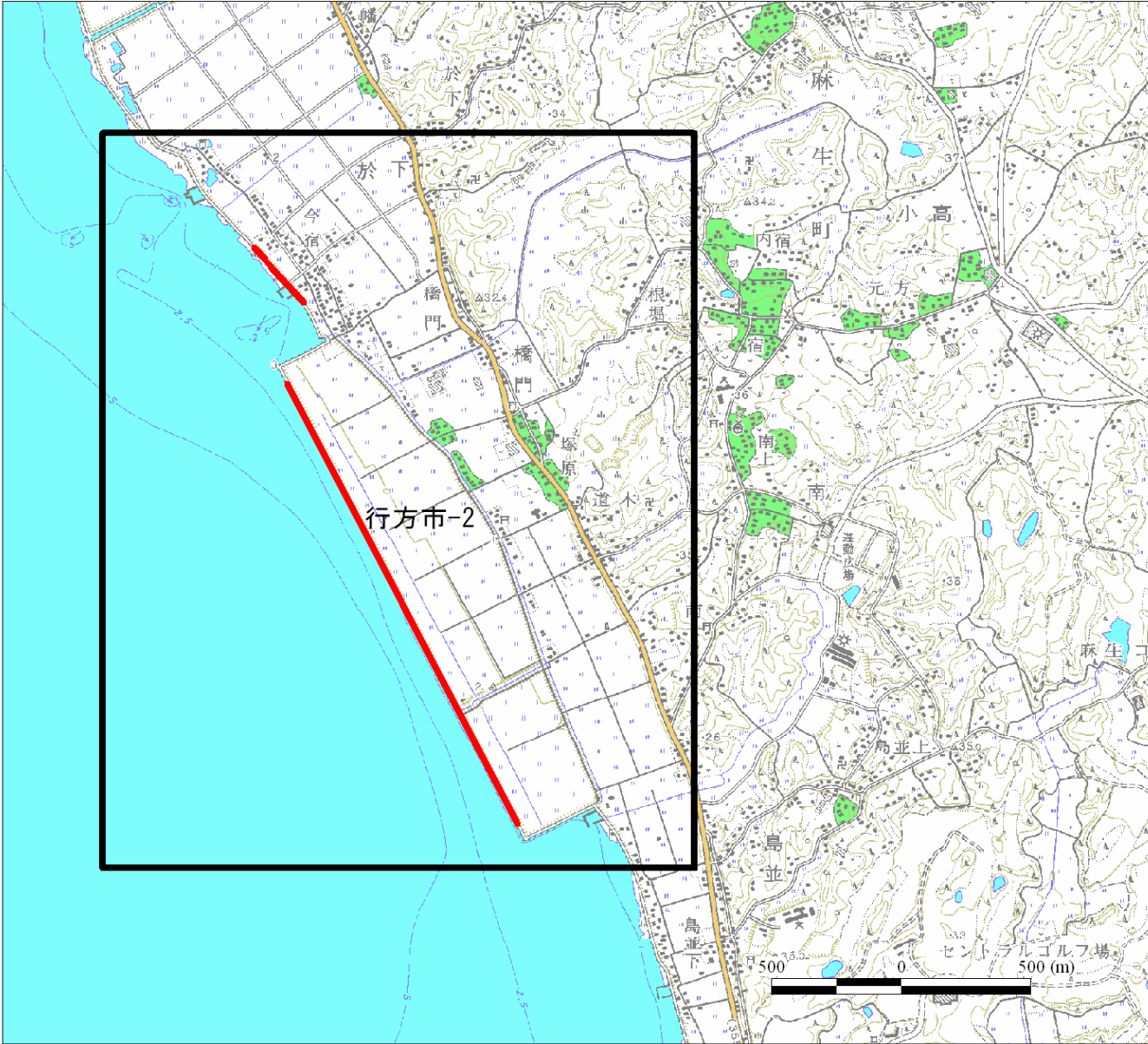
箇所名	行方市-1		都道府県	茨城県		市区町村	行方市		地区	古宿		6/6
発生面積	小	地形分類	氾濫平野、埋立地			液状化発生履歴	液状化の履歴なし					
土地改変履歴	湖畔の埋立てによる陸地の造成											
被害概要	護岸遊歩道カラー舗装の破損・波打ち、道路の段差・ひび割れ											
噴砂の状況	駐車場に噴砂			地盤の変形量（沈下、傾斜）			20cm～40cm程度			被害の程度	小	
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会											

先名重樹(防災科学技術研究所)2011/4/12

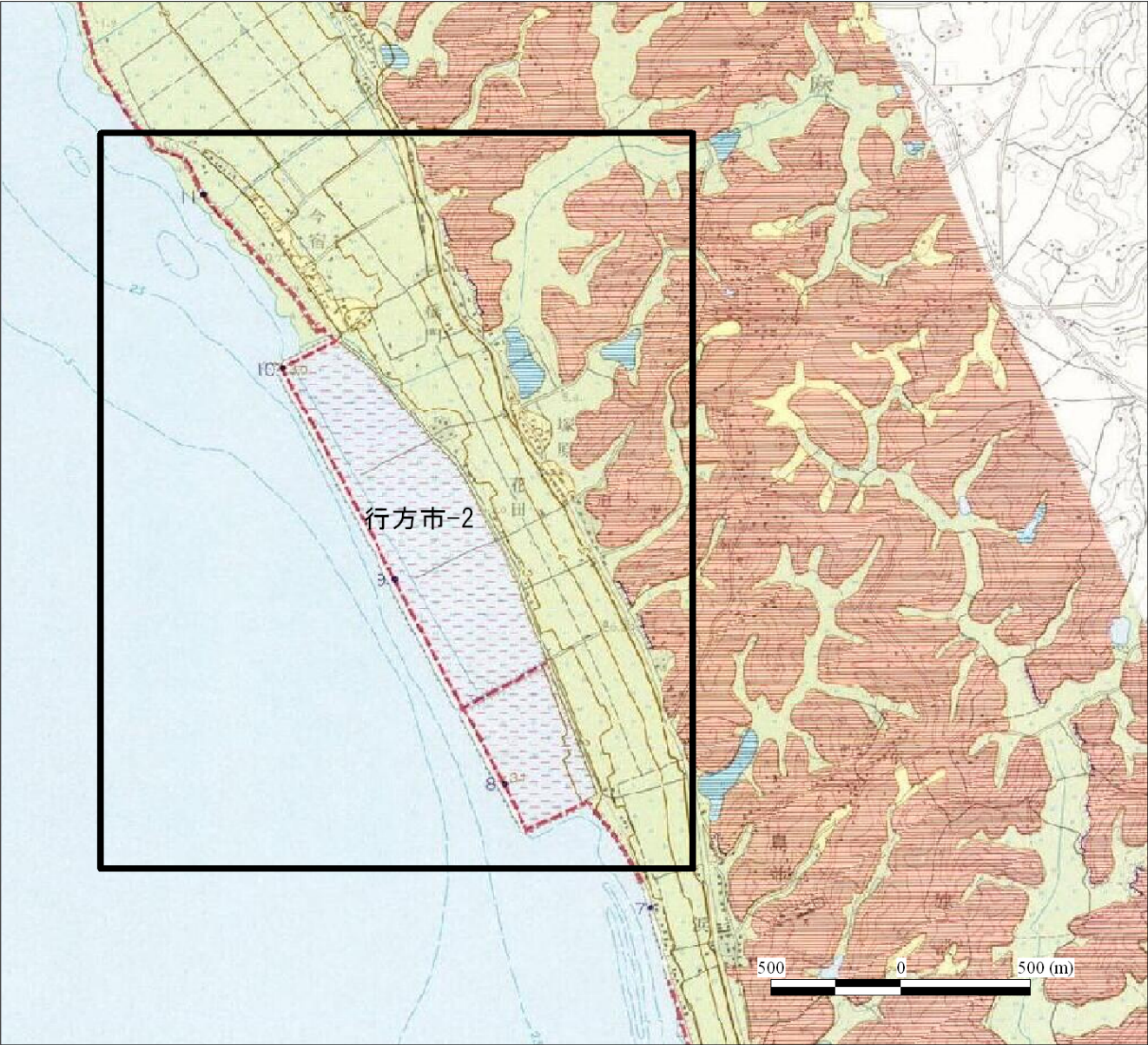


箇所名	行方市-2			都道府県	茨城県		市区町村	行方市			地区	小高, 今宿			1/6
発生面積	中		地形分類	干拓地			液状化発生履歴		液状化の履歴なし						
土地改変履歴	干拓による造成。1918年～1938年にかけて干拓。														
被害概要	堤防が2273mにわたり変状														
噴砂の状況	噴砂は小				地盤の変形量(沈下、傾斜)			天端亀裂最大で20cm、天端沈下最大で110cm				被害の程度		中	
出典・調査	霞ヶ浦河川事務所														

平面図 (赤色は液状化、青色は非液状化を示す。面的着色は、専門家が現地調査結果に地形・地質情報等を加味して、その範囲を推定したものであり、その境界位置は厳密なものではない)

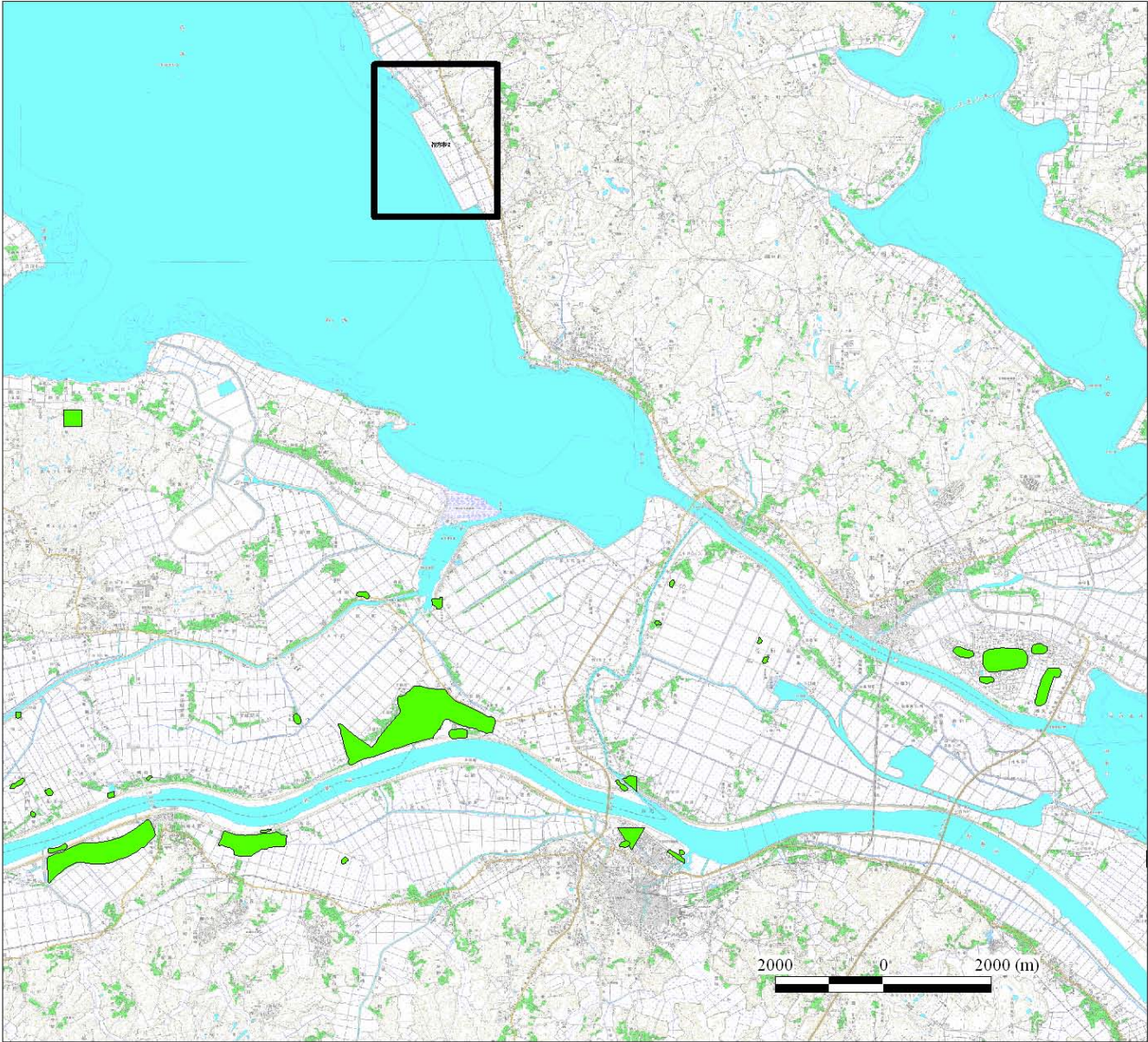


治水地形分類図



箇所名	行方市-2			都道府県	茨城県		市区町村	行方市		地区	小高, 今宿			2/6
発生面積	中		地形分類	干拓地			液状化発生履歴		液状化の履歴なし					
土地改変履歴	干拓による造成。1918年～1938年にかけて干拓。													
被害概要	堤防が2273mにわたり変状													
噴砂の状況	噴砂は小			地盤の変形量(沈下、傾斜)			天端亀裂最大で20cm、天端沈下最大で110cm				被害の程度		中	
出典・調査	霞ヶ浦河川事務所													

日本の液状化履歴マップ745-2008(若松加寿江著)

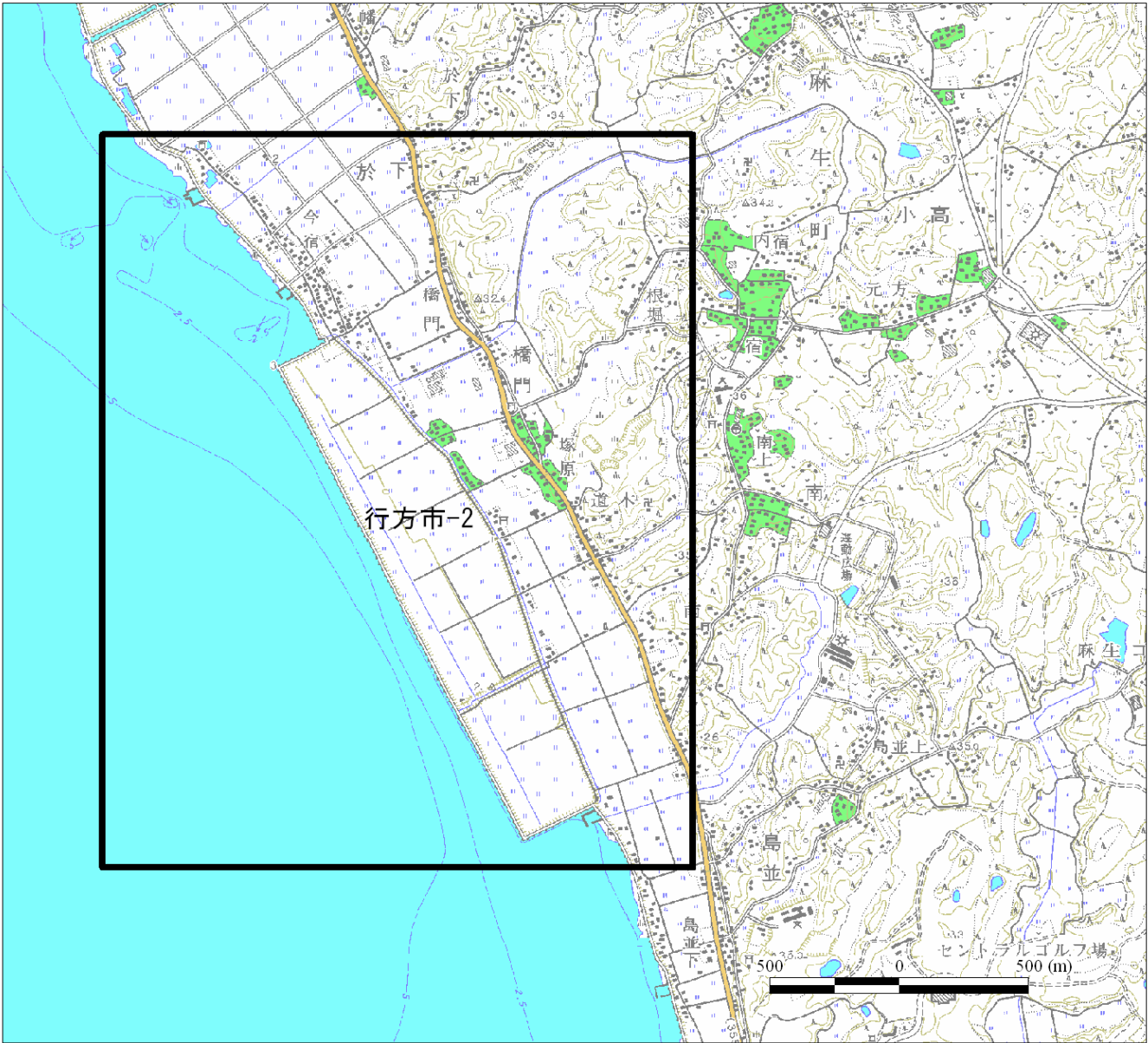


航空写真(googleマップ2011/3/29版)

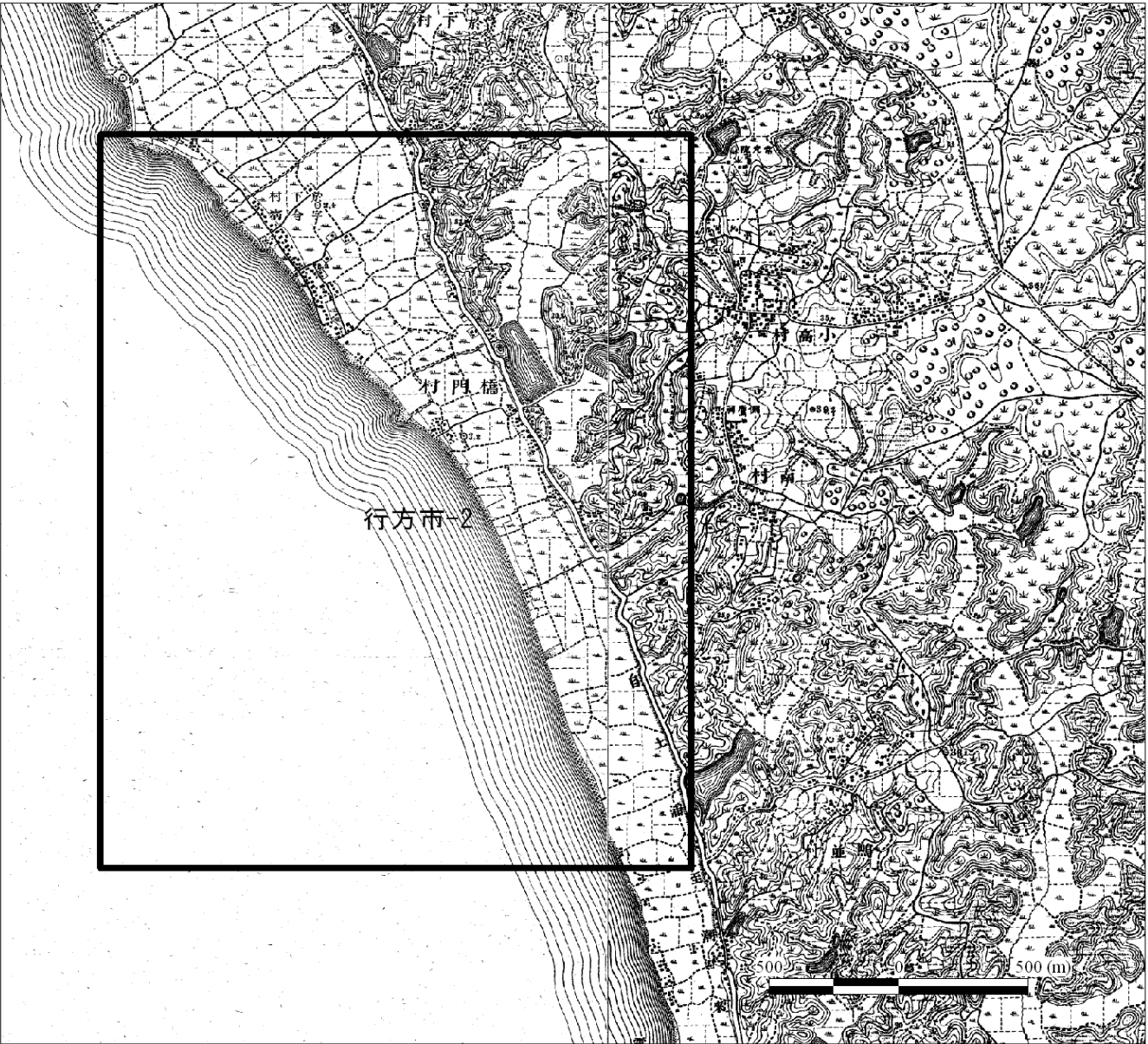


箇所名	行方市-2			都道府県	茨城県		市区町村	行方市		地区	小高, 今宿			3/6
発生面積	中		地形分類	干拓地			液状化発生履歴		液状化の履歴なし					
土地改変履歴	干拓による造成。1918年～1938年にかけて干拓。													
被害概要	堤防が2273mにわたり変状													
噴砂の状況	噴砂は小			地盤の変形量(沈下、傾斜)			天端亀裂最大で20cm、天端沈下最大で110cm				被害の程度		中	
出典・調査	霞ヶ浦河川事務所													

地形図(数値地図25000)

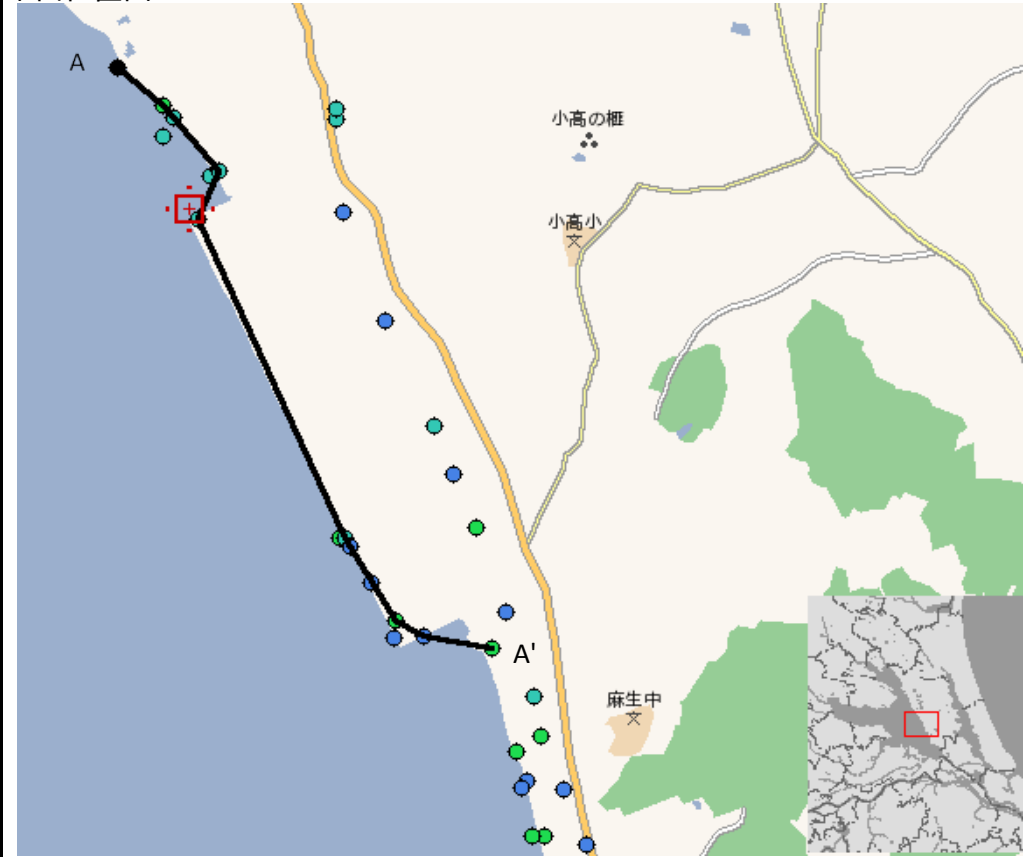


1/20000迅速図: 明治18年測量



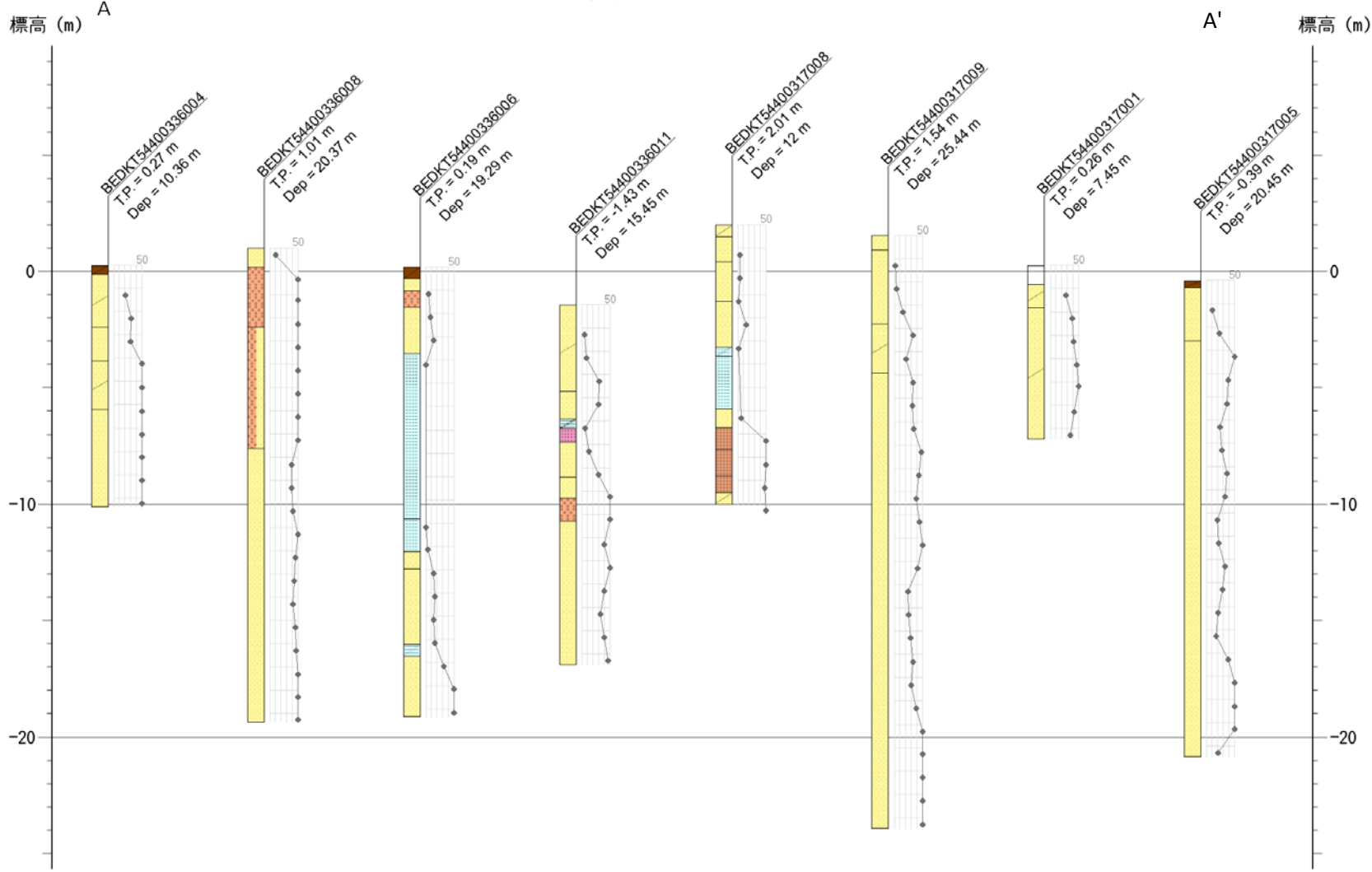
箇所名	行方市-2		都道府県	茨城県	市区町村	行方市	地区	小高, 今宿	4/6
地下水位	GL-0~1.1m	液状化対象層(層厚、深度)	Bs,As GL-0~6m(層厚3~6m)						
湿潤密度 ρ_t		平均粒径D50			細粒分含有率FC		塑性指数Ip		
平均N値	1~34	液状化強度RL20			S波速度Vs		相対密度Dr		
液状化抵抗率F		適用基準			液状化指数PL				

平面位置図

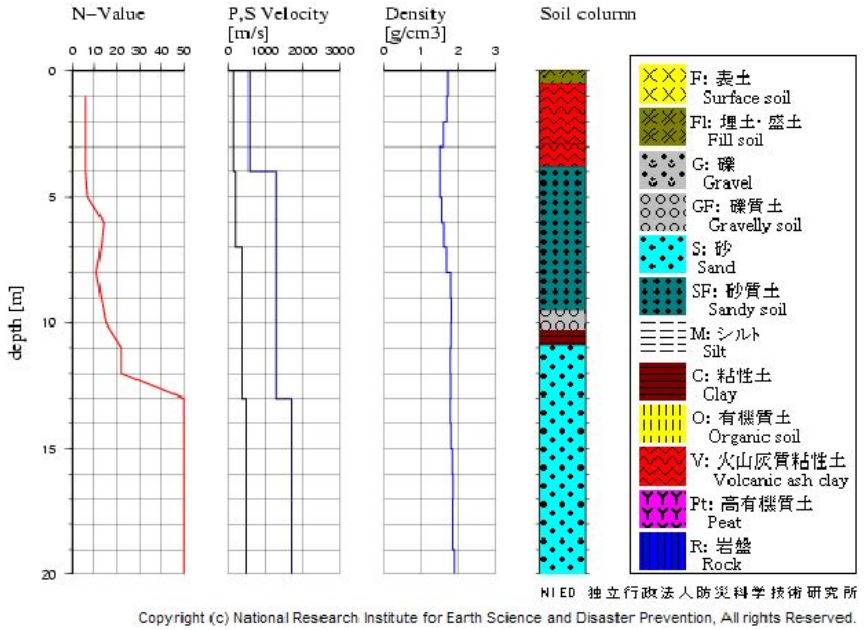
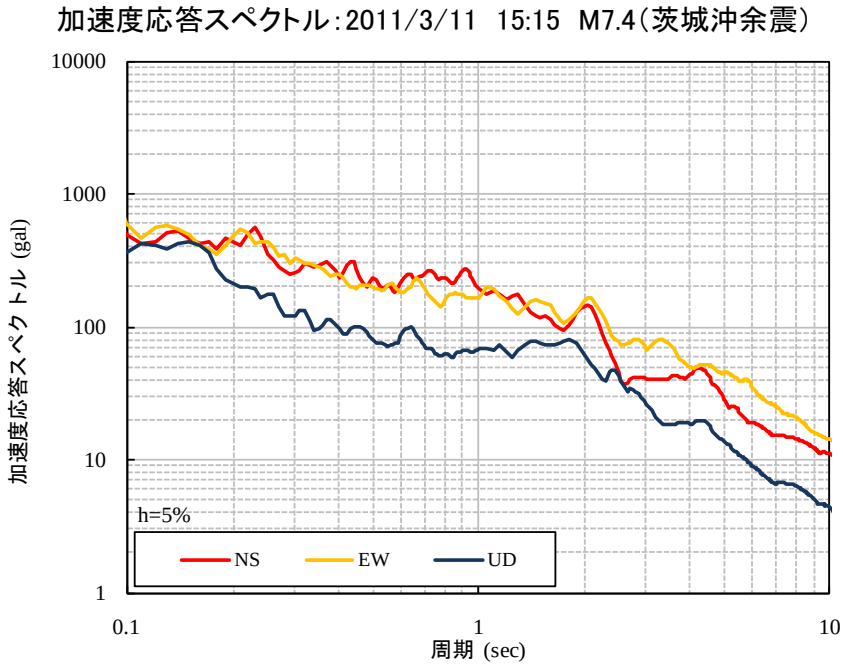
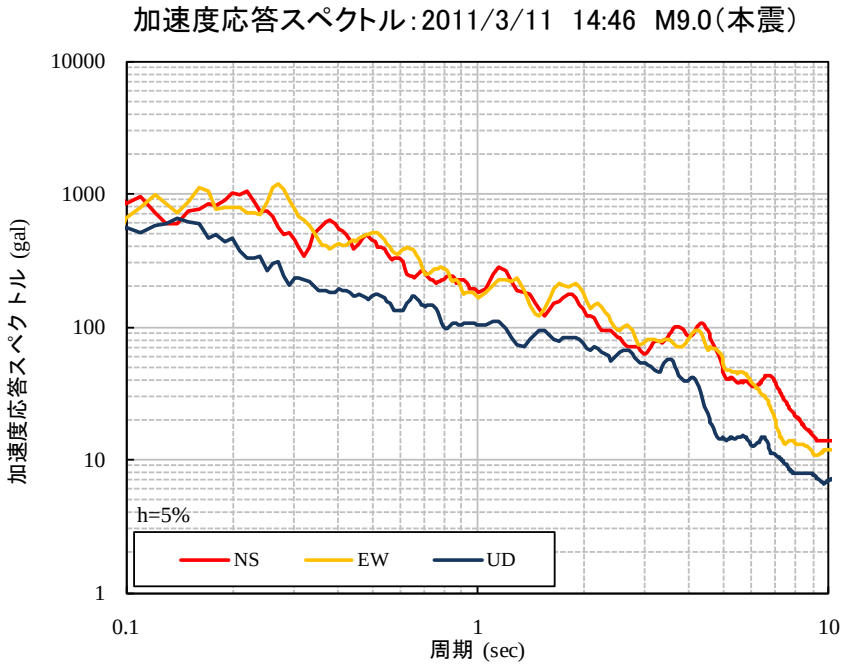
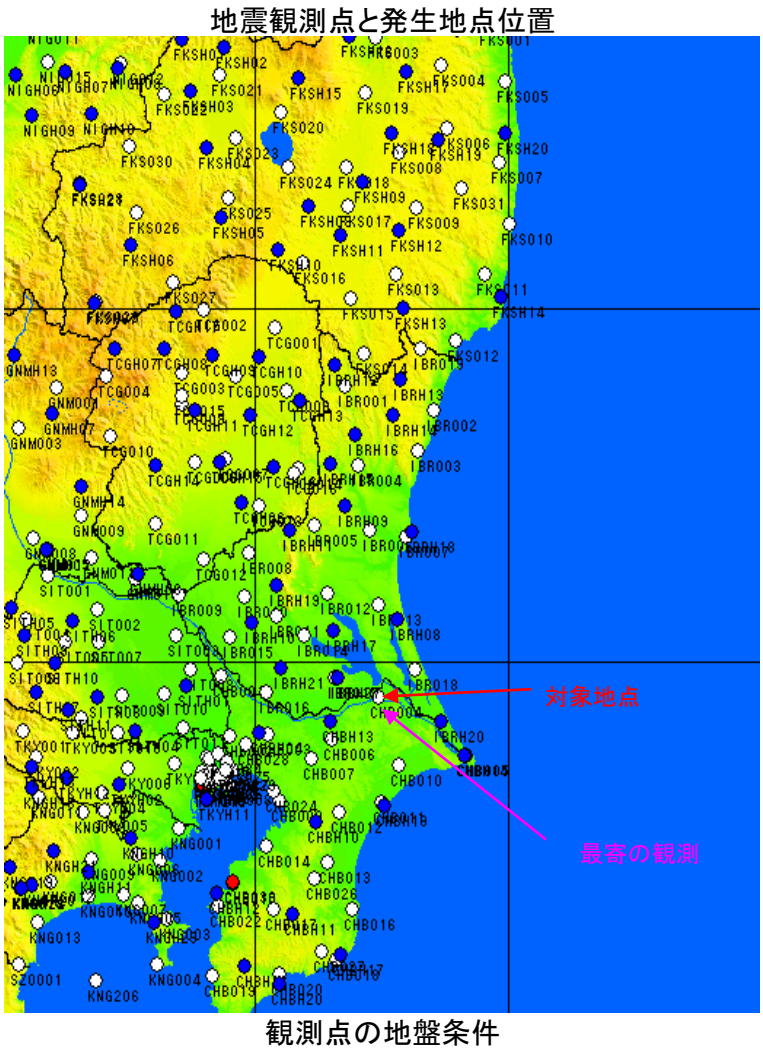
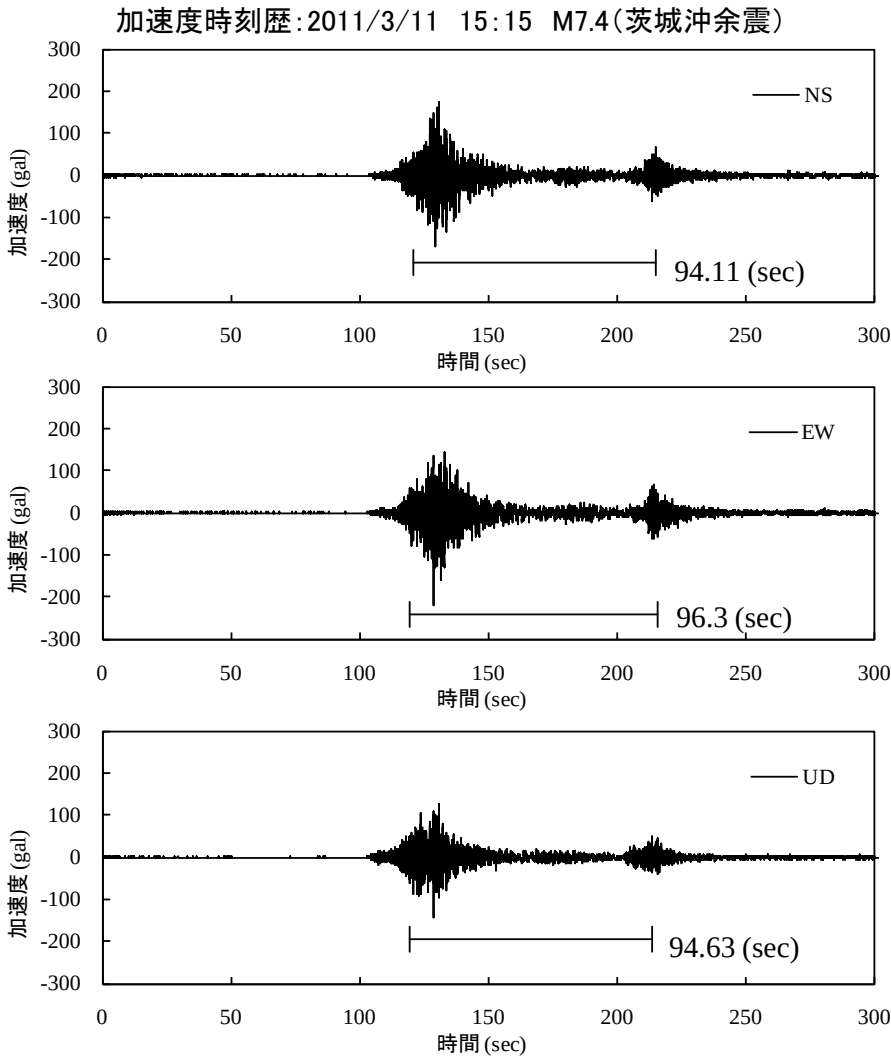
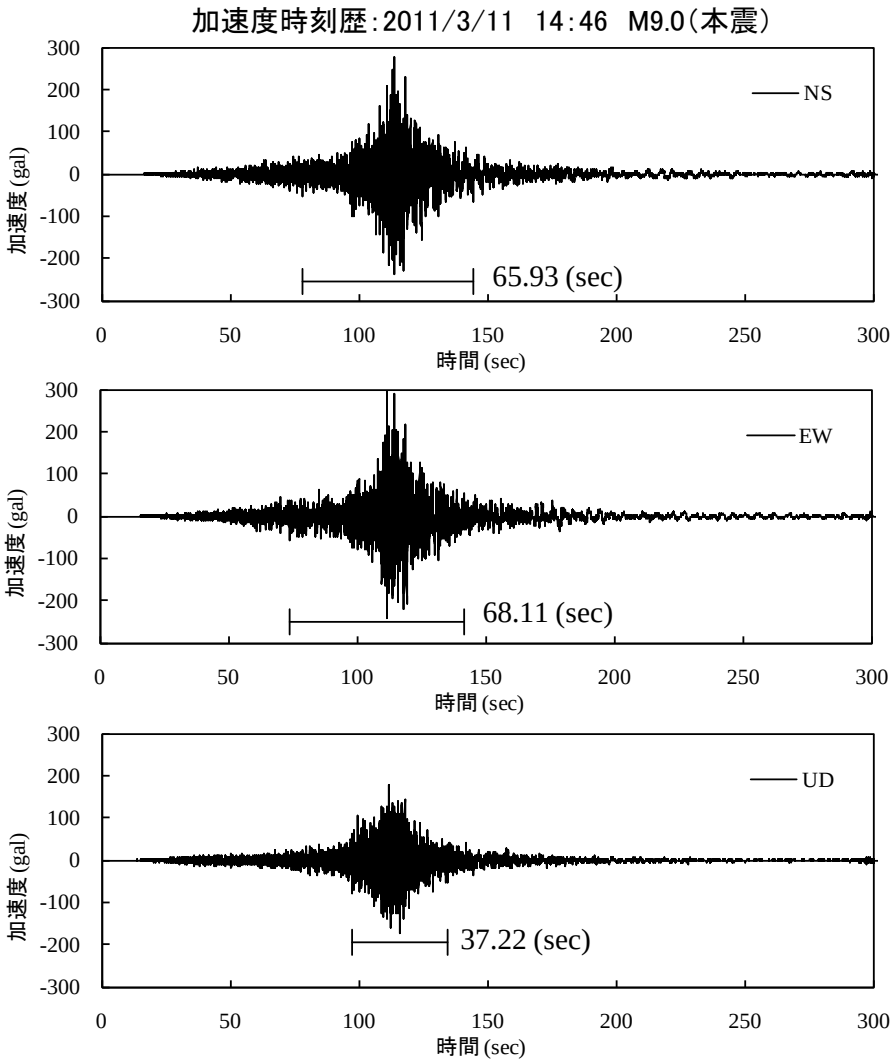


出典: 防災科学技術研究所ジオステーション

地質柱状図対比図



箇所名	行方市-2	都道府県	茨城県	市区町村	行方市	地区	小高, 今宿					5/6
対象地震	2011/3/11 14:46 M9.0(本震)	観測点	K-NET佐原(CHB004)	対象地点との距離(km)	14.0	最大加速度(gal)	310.3	最大速度(kine)	26.3	継続時間(50gal以上)(s)	68.11	
	2011/3/11 15:15 M7.4(茨城沖余震)						244.6		23.1		96.30	
注)最大加速度、最大速度の値は3成分合成値					気象庁震度(本震)	6弱		出典	防災科学技術研究所HP			



箇所名	行方市-2			都道府県 茨城県		市区町村	行方市	地区	小高, 今宿		6/6
発生面積	中	地形分類	干拓地		液状化発生履歴	液状化の履歴なし					
土地改変履歴	干拓による造成。1918年～1938年にかけて干拓。										
被害概要	堤防が2273mにわたり変状										
噴砂の状況	噴砂は小			地盤の変形量(沈下、傾斜)		天端亀裂最大で20cm、天端沈下最大で110cm				被害の程度	中
出典・調査	霞ヶ浦河川事務所										

霞ヶ浦河川事務所

